

名古屋大学教養教育院教養教育推進室教授（副院長） 兼 東海国立大学機構教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）推進企画室長補佐 教員公募

1. 機関・所属・職名・人員

名古屋大学教養教育院教養教育推進室 教授 1名
（名古屋大学教養教育院 副院長 及び 東海国立大学機構 教育基盤統括本部
（アカデミック・セントラル） 推進企画室長補佐 兼務）

2. 職務内容

- (1) 東海国立大学機構教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）推進企画室長補佐として，教育改革の重点推進施策の全体統括補佐，名古屋大学及び岐阜大学各
部局との交渉・調整
- (2) 東海国立大学機構教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）高度リベラル・
アーツ教育共創部門の実施体制の構築及び両大学の共同事業の企画・実施
- (3) 名古屋大学教養教育院副院長として，大学院も含めたシームレスなリベラル・ア
ーツ教育のビジョン策定と実施体制の構築，教育の内部質保証体制の整備
- (4) 名古屋大学大学院共通科目及び全学教育科目の担当
- (5) その他，名古屋大学教養教育院教養教育推進室の業務

3. 採用予定日 2022年10月1日

4. 勤務形態 常勤（任期あり）

5. 任期 2027年3月31日まで

6. 給与等 年俸制（東海国立大学機構職員給与規程による）

7. 応募資格及び要件

- (1) 博士学位を有すること，またはこれに相当する教育・研究・マネジメントのい
ずれかの業績を有すること。
- (2) 高等教育，特に教養教育に関する知見と実績を有すること。
- (3) 高等教育における大学間連携の企画・実施・マネジメントを担当できること。
- (4) 教養教育の質保証に関する知見と実績を有すること。
- (5) 教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）及び教養教育院の活動への強い意
欲と十分な能力を有すること。
- (6) 英語でも業務の遂行が可能であることが望ましい。

8. 応募締切 2022年 4月 25日（月） 必着（厳守）

9. 提出書類

応募書類は下記の電子メールアドレスに添付ファイルで送ること。

- (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先，電話番号，電子メールアドレスな
どを含む）

- (2) 履歴書（様式指定。写真貼付。学歴は高等学校卒業以降を記載。）
※履歴書様式ダウンロード
<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/L6GDJ53Too6bX6E>
- (3) 教育・研究・マネジメントに関する業績リスト（著書発表論文等，外部資金獲得実績，受賞，募集内容に関連する活動実績等）
- (4) これまでの活動実績と教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）及び教養教育院の職務に関する抱負（A4で2枚程度）
- (5) 主要論文・著書等またはこれに相当するもの（合計5点まで）
（論文の場合は，論文本体のPDFファイル及び400字程度の要約とする。なお，著書の場合は書誌情報及び400字程度の要約のみを提出のこと。）
- (6) 応募者についての参考意見を伺える方2名の氏名，所属，職名，電話番号，電子メールアドレス

以上をPDFファイルで作成し，(1)～(4)・(6)の順に結合した単一のファイル及び(5)のみのファイルを「10.応募書類送付先」を参照の上，提出してください。

各PDFのファイル名は，次のとおりをお願いします。

- (1)～(4)・(6)：1（氏名）応募書類（名大アカデミック・セントラル）
(5)：2（氏名）主要論文・著書等（名大アカデミック・セントラル）

10. 応募書類送付先

- ・ 応募書類のファイルが合わせて10MB以内の場合：電子メールに添付して以下のアドレスにお送りください
書類の送付先アドレス（電子メール）：[ilas-jinji \[at\] adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:ilas-jinji@adm.nagoya-u.ac.jp)
※ [at] を@に置き換えてください
- ・ メール「件名」は，「アカデミック・セントラル教員応募（氏名）」としてください。
- ・ 応募書類のファイルが10MBを超える場合：上記アドレスにご一報ください。折り返しアップロード用のURLをお知らせします。
- ・ 応募書類を受領後，確認のメールを返信します。5日経っても返信がない場合は，上記アドレスまでお問い合わせください。

11. 問い合わせ先

名古屋大学教育推進部教育企画課
E-mail：[ilas-jinji \[at\] adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:ilas-jinji@adm.nagoya-u.ac.jp)
※ [at] を@に置き換えてください

12. 選考方法

第一次選考 書類選考

第二次選考 面接（面接のために旅費等が必要となった場合は，応募者の負担となります。）

備考

- (1) 応募書類は返却しません。提出された応募書類は選考以外の目的には使用しません。
- (2) 名古屋大学は評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用しています。

1) 東海国立大学機構とは

2020年4月に岐阜大学と名古屋大学の法人統合により，国立大学において初の試みとなる一法人複数大学の国立大学法人として設立されました。地域への貢献力と国際競争力を同時に伸ばすという新しい類型の国立大学法人として，大学改革の一つのモデルとなることを目指しています。

2) 教育基盤統括本部（アカデミック・セントラル）とは

東海国立大学機構における教育のヘッドクォーターとして，両大学の自律性を尊重しながら機構の枠組みを活かした教育資源・成果の共有を進め，互いのメリットを活かした教育改革を推進するために設立された組織です。東海国立大学機構全体の教育の共同基盤整備の企画立案，両大学に共通する人材育成の企画立案を担っており，岐阜大学と名古屋大学における様々な取組を推進しています。

アカデミック・セントラル推進企画室は，その中核を担う組織で東海国立大学機構における教育改革に関する施策の企画・立案を行います。

3) 名古屋大学教養教育院とは

名古屋大学における教養教育及び専門基礎教育(以下「全学教育」という。)の実施について統括するとともに，教育の質を管理する組織。全学教育の企画・立案，実施及びこれに関する部局間の調整並びに全学教育に関する評価を行うことにより，全学教育の質的向上と充実を図っています。

関係URL

東海国立大学機構

<https://www.thers.ac.jp/>

アカデミック・セントラル

<https://www.thers.ac.jp/research/academic-central/index.html>

教養教育院

<https://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/>